

色鮮やかに白糠象徴

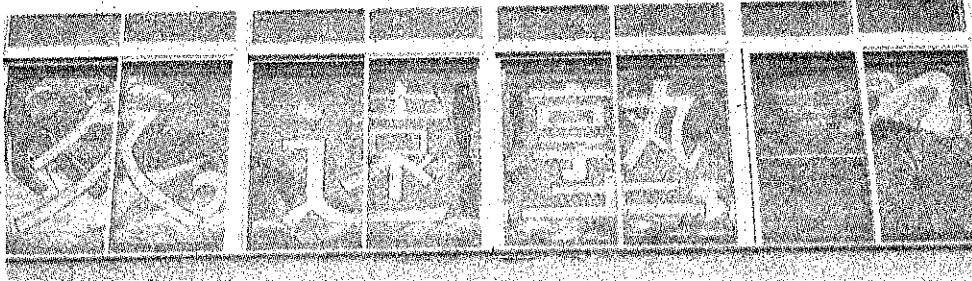
白糠高校
美術部 久遠塾の窓看板製作

【白糠】白糠高校美術部 (石井寿鶴部長) が製作した同校生徒を対象にした公営塾「久遠塾」(向井啓暢塾長)のウインドーサイン(窓の看板)が、同塾がある同校3階図書室の窓に掲示されている。看板には山と海、夕日を背景に町開拓功労者顕彰碑「太陽の手」や町花のキンセンカ、干しシシヤモなど白糠の象徴が描かれている。

同塾から「外から一目で

久遠塾だと分かるものを作ってほしい」と依頼され、石井部長(2年)と大澤結さん(同)、田中絢音さん(同)、天童雛子さん(1年)、松田みづきさん(同)の5人が手掛けた。ステンドグラス風の看板を思いつき、切り絵の要領で台紙の

白糠の象徴が描かれたウインドーサイン(上)。左から石井部長、大澤さん、田中さん、松田さん(下)



粘着面にカラー箔を押さえつけ剥がすと色が転写されるキットを使用した。

石井さんは「1年前から

構想を練り、5カ月ほどかけて完成させた。下描きや、曲線や円形を切り出すのが特に大変だった」と振り返

レイアウト・松井 伸寛
「作業中は実感が湧かなかつたが、遠くから見ると迫力があり、こういう配色にして良かったと思う」。

向井塾長は「生徒たちもきれいだ大変喜んでい

(水谷友路)